

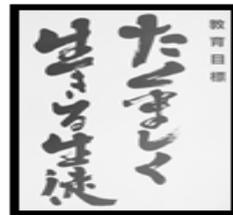
東 光

令和6年

11月26日 発行

第 5 号

(担当 盛山)



東華祭が行われました

今年度の東華祭は、午前合唱コンクール、午後PTA文化教養部主催の演奏会を行いました。全校生徒が全

学級の合唱を体育館で聴くことができました。また、多くの保護者の方々にお越しいただき、子どもたちの一生懸命な姿をご覧いただいたこと、大変うれしく思います。当日までの約2週間、各学級・各学年でリーダーを中心に練習を重ね、当日は素晴らしい歌声を体育館いっぱいに披露してくれました。午後のPTA文化教養部主催の演奏会では、ハンドパン・篠笛が奏でる素晴らしい演奏を聴いたり、生徒とのコラボ演奏を全校生徒で楽しんだりするなど、短時間でしたが素敵な時間を過ごすことができました。

学年	最優秀賞	優秀賞
1	3組「あさがお」	5組「空は今」
2	5組「ほらね」	4組「世界を変えるために」
3	2組「ヒカリ」	5組「青い鳥」

「史上最響」

東華祭実行委員長 鈴木 愛菜 さん(3-1)

みなさん、東華祭お疲れ様でした。今年は地域貢献活動や東新パワーフェスタなどのイベントの合間に合唱練習をする、とてもハードスケジュールのなか行われました。ですが、全クラスとても真剣に練習に取り組み、当日はとても素晴らしい合唱が体育館に響いていました。

今年の東華祭スローガンは「史上最響」でした。全クラスの合唱がスローガンにふさわしい、とても素晴らしいものになっていて、実行委員長として成功してよかった、頑張ってきて良かったと心から思いました。

最後になりますが、当日までご指導してくださった先生方、協力してくれた実行委員、全校のみなさん、そして保護者の方々本当にありがとうございました。



～『地域貢献活動・東新パワーフェスタ』～

10月5日(土)に、地域のみなさまや保護者のみなさまからご参加いただき、地域貢献活動を実施しました。多くの方のご協力が無事に活動を終わることができました。活動終了後は全員が学校に集まり、個々に振り返りを行いました。振り返りからは、生徒一人一人が自分たちの住む地域に貢献していこうとする思いをもったことが読み取れました。また、午後からは「東新パワーフェスタ」を行いました。



各クラスで工夫をこらした出し物やステージでパフォーマンスを披露しました。多くの学区の小学生保護者にも参加していただき、東新潟中学校区の絆を深める良い機会となりました。



今年、広島の平和記念式典に参加した村上さんの作文を紹介します。

広島から考える当たり前

2年3組 村上友葉

1945年8月6日広島に一発の原子爆弾が投下され、今年で79年が経ちました。今、広島空を見上げると綺麗な青空が広がっています。私はその事がなんだか感慨深くなって広島で毎日たくさんの空の写真を撮りました。2泊3日の広島派遣を経て私が印象に残った事は、様々な国籍の人、年代の人が広島を訪れていたということです。ご年配の方から私たちと同じ学生、小さな子供たち、国外からなど沢山の方に会いました。日本国内には沢山の観光地がある中で広島を選んで、平和と向き合おうとする外国の方にとっても感動しました。出会った方はみんなとても優しくかったです。特に平和記念資料館を見学した際に音声案内を聞いて熱心に見学する外国の方の姿に、改めて原子爆弾、平和について、沢山の人が注目していて、世界が一丸となって協力しなければならない事なのだとかんじました。また、館内は実際の写真や遺品などがあり、中学生の私でも、見学する中で怖いと感じていたのに資料館には幼い子供も沢山いました。涙を流しながらもじっと展示を見ている子に凄いな、立派だな、平和を考えるのに年齢なんて関係ないのだとかんじました。この広島派遣の中で特に印象に残った言葉があります。それは原爆被害者証言の集いでご自身も9歳の時に被爆されたという、早志百合子さんが仰った「被爆した人は死んでも死ななくても不幸」という言葉です。現在88歳の綺麗でおしゃれな百合子さんから発せられる言葉は全てが壮絶で、経験したことがない私には到底理解できるものではありませんでした。爆風、熱線、放射線によって被爆した年中に亡くなった14万人の方の苦しみは勿論、周りの人が亡くなる辛さ、焼け野原、死体で溢れた故郷、終戦後の差別、トラウマ、何十年と逃れる事の出来ない体調のこと。百合子さんはトラウマの影響で被爆から79年たった今でも、資料館などに入ったことは一度もなく、式典に参加したこともないそうです。私は聞いているだけでも辛く、胸が締め付けられるような気持ちになりました。百合子さんはとっても辛いはずなのに詳細に、絵や地図を見せながら丁寧に話してくださいました。私は話を聞いて改めて、原爆の恐ろしさを理解し絶対に繰り返してはならないものだとかんじました。私は家族がいる、衣食住がある、学校に通って、友達と遊べるという当たり前は当たり前ではないと理解し、原爆の恐ろしさ、平和の大切さを沢山の人の人に知ってもらいたいと思いました。そのために、自分の行動で世界が変わる、平和についての理解を深めることができると信じ、まずは家族、友達、学校の人など1人でも多くの人に今回の貴重な体験の中で学んだことを伝えようと思います。どんなに些細なことでも沢山の人の願いが積み重なればいつかきっと達成できます。今後、全ての人がお互いを大切に尊重し合い、どこにいても綺麗な青空が見える、そんな世界になっていくことを心から願います。平和の灯火が消える日が一刻も早くきますように。

令和6年度 第65回 新潟市中学校新人大会 結果

東新潟中学校の生徒らしく、最後までさわやかに、正々堂々と、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮しました。この結果をこれからの練習に生かし、更に成長してくれることを期待します。また、保護者の方々に対し、これまで温かい応援とご支援に感謝申し上げます。

陸上競技

【共通男子 1500m】

井上 優贈 5分04秒72 1位
津田 恵太 5分40秒31 7位

【1年男子 100mH】

後藤 尚義 17秒80 1位
市橋 淳之介 18秒46 2位
有澤 陸斗 18秒48 3位
林 凜太郎 18秒89 5位

【2年女子 100mH】

木村 唯夏 17秒56 3位
須佐 柚月 18秒69 5位

【2年男子 100mH】

長谷川 蒼人 15秒72 1位
第108回日本陸上競技選手権大会
室内競技2025日本室内陸上競技
大阪大会参加標準記録突破

バレーボール

予選リーグ

第1試合 対小須戸 2-0勝
第2試合 対下山 1-1分
決勝戦 対藤見 0-2負
<準優勝>

男子バスケットボール

第1試合 対新津二 13-20負
第2試合 対光晴 13-40負
第3試合 対藤見 14-34負
第4試合 対曾野木 28-24勝

女子バスケットボール

第1試合 対東石山 31-13勝
第2試合 対木戸 33-14勝
第3試合 対KITA 33-14勝
第4試合 対横越 43-14勝
<リーグ1位>

東新ベースボールクラブ

第1試合 対GBB 0-7負
第2試合 対小針 4-29負

サッカー

第1試合 対藤見 0-2負
第2試合 対石山 1-9負

男子ソフトテニス

第1試合 対曾野木 3-0勝
第2試合 対新津五 2-0勝
準決勝 対新津一 0-2勝
<3位>

卓球

第1試合 対光晴 2-3負
第2試合 対金津 3-1負
第3試合 対下山 1-3勝
<予選リーグ3位>

女子ソフトテニス

第1試合 対早通 2-1勝
第2試合 対新津一 0-3負



男子バドミントン

【シングルス】 佐野 翔哉

1回戦 対東石山 2-0勝
2回戦 対大形ジュニア 2-0負
3回戦 対両川 2-0勝
準決勝 対はちみつ Jr 0-2負
<3位>

藤木 太陽

2回戦 対大形ジュニア 2-0勝
3回戦 対東石山 2-0勝
準決勝 対小須戸スポ少 0-2負
<3位>

齋藤 翔

1回戦 対大形ジュニア 2-0勝
2回戦 対はちみつ Jr 0-2負

【ダブルス】 帆苅優翔・田村龍政

1回戦 対亀田西 2-0負
2回戦 対大形ジュニア 0-2負

渡邊孝祐・齋藤海雅

2回戦 対藤見 2-0勝
3回戦 対豊栄ジュニア 0-2負

女子バドミントン

【シングルス】 小林 色葉

2回戦 対新津 Jr 2-0勝
3回戦 対豊栄ジュニア 0-2負

中田 明衣奈

2回戦 対亀田 0-2負
中嶋 光那

2回戦 対小須戸スポ少 0-2勝

【ダブルス】 羽田萌衣菜・本間唯愛

2回戦 対亀田西 0-2負
田中美心・坂爪 結

1回戦 対藤見 0-2負

小林結芽・佐藤朱華

2回戦 対両川 2-0勝
3回戦 対藤見 0-2負

